

温室効果ガス排出量・吸収量管理体制整備費

～ Green System 構想 ～

-GHGs Removals and Emissions Estimation Database Network System

250百万円(200百万円)

地球環境局地球温暖化対策課

1. 事業の概要

温室効果ガス排出量の算定に必要な各種統計とのオンライン情報システムを構築し、迅速かつ確実に温室効果ガス排出量を作成、公表する。これらの情報は全て公開し、国民一体となって温室効果ガス排出削減対策を進めるための情報基盤を構築。

第1約束期間に確実に6%削減目標を達成するため、京都議定書目標達成計画の進捗状況を把握し、その評価・見直しを徹底的に行う。

2. 事業計画

平成19年度	平成20年度	平成21年度
<ul style="list-style-type: none">・温室効果ガス排出量情報システムの構築・京都議定書目標達成計画の評価、見直し	<ul style="list-style-type: none">・温室効果ガス排出量情報システムの運用開始	<ul style="list-style-type: none">・システム全体の維持管理

3. 施策の効果

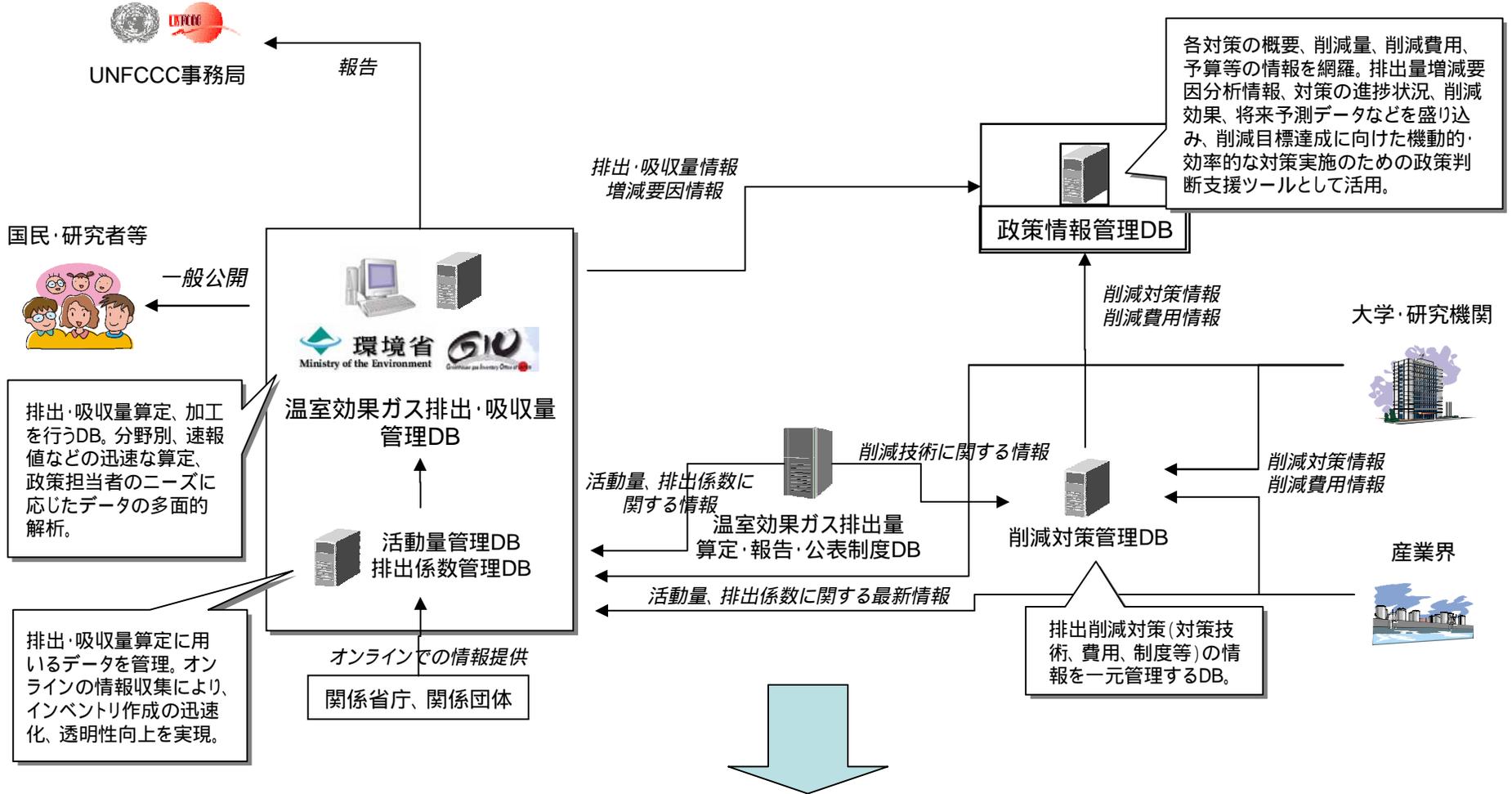
温室効果ガス排出量の分野別集計、速報値集計等の迅速な集計、多面的データ解析等がデータベース化されることで、第1約束期間における迅速かつ機動的な温室効果ガス削減対策が可能となる。

情報を全て公開することで、国民一体となって温室効果ガス排出削減対策を進めるための情報基盤が整備される。

6%削減約束を果たすため、京都議定書目標達成計画の評価、見直しを行う。

GREEN System

(GHGs Removals and Emissions Estimation Database Network System)



排出量・対策情報の迅速な集計、多面的解析
 第1約束期間(2008年～)における機動的な対策
 国民一体とした排出削減対策を進めるための情報基盤の整備